

令和5年度 和歌山大学教職大学院運営協議会（第1回）概要

日時 令和5年9月28日（木）15:00～16:30
場所 和歌山大学東3号館 中505 第2会議室（和歌山市栄谷930）
出席 中井章博 和歌山県教育委員会紀北教育事務所長（同学校教育局長代理）、前北博文 和歌山県教育委員会学校教育部長、古田清和 和歌山県立伏虎義務教育学校長、藪中秀樹 新宮市立神倉小学校長、岸田正幸 和歌山信愛大学教授、田川裕之 教育学研究科長／教授、豊田充崇 教職開発専攻長／教授（授業実践力向上コース長）、宮橋小百合 准教授（学校改善マネジメントコース長代理）、山崎由可里 教授（特別支援教育コース長）

欠席 ー
概要

（1）研究科長挨拶

（2）出席者紹介

（3）報告

報告に先立って、豊田専攻長より、教職大学院の概要説明を行った。

①本年度の運営体制等について

豊田専攻長より、資料1のとおり説明があった。

②教職大学院カリキュラム

豊田専攻長及び宮橋准教授より、パンフレットに基づき本学のカリキュラム・ポリシーに関するカリキュラムの説明があった。

③本年度の入学状況及び募集状況について

豊田専攻長より、資料2のとおり説明があった。

外部進学者及びSSTPによる進学者が増加したため、令和5年度の入学定員を充足した。今年度実施の進学者選抜の状況についても説明があった。

④ストレートマスターの就職状況について

豊田専攻長より、資料3のとおり説明があった。

⑤教員採用試験の状況について

豊田専攻長より、資料4のとおり説明があった。

⑥修了生及び管理職アンケート結果について

豊田専攻長より、**資料5**のとおり説明があった。

⑦「学校実践支援ユニット」について

豊田専攻長より、**資料6**のとおり説明があった。

学校実践支援ユニット事業のうち、「ブレンディッド・ラーニングによる教員研修履修証明プログラム」「学校支援プロジェクト（田辺市・海南市）」「ICT 出前授業」「小規模校実習」実施事業」等の紹介。

⑧その他

—

(4) 質疑応答／協議

(教員養成の趣旨)

- ・教職大学院の創設の趣旨は学校マネジメントであったが、今後は教科教育を踏まえた教員養成をしていただければと考える。(岸田氏)
→カリキュラムの不断の見直しとともに、他大学との連携も踏まえた連携も検討する。

(その他)

- ・現職教員とストレートマスターの学生が共に学ぶ体制に関する期待と要望。(中井氏)
- ・教員の若年化と学校マネジメント、教員不足への対応、教職大学院進学、今後の連携への期待。(前北氏)
- ・ストレートマスターの進路、修了者への期待について。(古田氏)
- ・管理職として、現職教員の修了後に担当する学年や校務分掌への対応について。(藪中氏)
- ・今後の質的な分析についての重要性 他。(山崎)

(5) 閉会挨拶（田川研究科長）／次回日程について

次回は令和6年3月に予定。